

JHL NEWS

No.13

2011年2月14日

●発行
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

北國、ソニーがプレーオフ切符獲得!

～第35回 日本ハンドボールリーグ・第12週～

第35回日本ハンドボールリーグ第12週は2月11～13日に広島などで男子4、女子3試合が行われ、男子では首位を走る大崎電気が琉球コラソンを破ったほか、トヨタ車体が大同特殊鋼に競り勝ってプレーオフに望みをつなぎ、湧永製薬、トヨタ紡織九州も順当に白星を飾った。女子は首位を争う北國銀行とソニーセミコンダクタ九州が手堅く勝利を握ってプレーオフ進出を決定、広島メイプルレッズ-オムロン戦は広島が逆転勝利をものにした。

女子の広島-オムロン戦は前半は17分過ぎからオムロンが藤井らの4連取で8-5とリードを奪い、その後も主導権を握り11-7として前半を終えた。一方の広島は後半開始早々の3連取で互角の展開に引き戻すと、11分に植垣の7mスローで逆転。その後は一進一退の展開が続き、状況の打開を図りたいオムロンは広島・呉にマンツーマンディフェンスをつけた。ここで広島は粘りのポスト攻撃を見せ、24分に高山が3点差とする値千金のゴールを決め、このあとのパワープレーチャンスに貴重な追加点を奪い、そのまま逃げ切った。

北國-HC名古屋戦は北國が16-11とリードして迎えた後半、アグレッシブなディフェンスと横嶋のポスト、上町のカットインなどでペースアップ、14分26-15と大量リードを奪った。名古屋も鈴木、高橋玲らで最後まで追撃したものの北國の優位は動かなかった。この試合で北國・若松が通算200得点を達成した。

ソニーセミコンダクタ九州-三重バイオレットアイリス戦は、星野のゴールで先制した三重が3連取の好発進。それでもソニーは、大黒柱・伊藤の負傷退場で苦しくなった三重を前半中盤でとらえて態勢を入れ替え、その後はジワジワとリードを広げた。後半はGK飛田の堅守も光って完全にソニーペース。充実感あふれたソニーが9勝目をマークし、プレーオフ出場権を手にした。

男子の大崎-琉球戦は14-10と大崎4点リードで迎えた後半、琉球はGK石田の4連続好セーブからの速攻で7分14-14の同点とし、さらに高田のシュートで逆転に成功した。しかし、大崎は宮崎の巧みなスピードプレーで態勢を立て直し、中盤は一進一退の攻防が続いた。20分からは大崎は堅い守りとGKの好セーブで琉球の攻撃を阻み、宮崎の8得点をあげる活躍もあって32-26で首位をがっちりキープした。

大同-車体戦は立ち上がりから両チームとも動きが良く、互いに一歩も譲らず、3点差以上開くことのない接戦が続き、門山の力強いプレーが光った車体が16-15と1点リードで前半を終えた。後半に入り大同が末松の鋭いプレーなどで15分22-19としたが、ここから車体は踏ん張り、GK坪根の好セーブで失点を食い止め、富田のポストプレーなどで21分24-23と逆転。焦りからミスが目立つ大同は15分から29分までに武田のロングシュートによる2点のみと失速、落ち着いたプレーでリードを守りきった車体が27-25で貴重な白星を握った。
(2ページへ続く)



プレーオフに望みをつないだ①トヨタ車体・高智②終盤で貴重な追加点を奪った広島メイプルレッズ・高山

第13週の日程

2月19日(土)	埼玉	和光市総合体育館(東武東上線と和光市駅徒歩20分)	14:00～	(男)	大崎電気×大同特殊鋼
	福岡	久留米総合スポーツセンター体育館(西鉄天神大牟田線櫛原駅徒歩10分)	14:00～	(男)	豊田合成×湧永製薬
	佐賀	トヨタ紡織九州クレインアリーナ(JR長崎本線神埼駅車10分)	15:00～	(男)	トヨタ紡織九州×北陸電力
	熊本	山鹿市総合体育館(九州産交バス「山鹿バスセンター」下車、車10分)	14:00～	(女)	広島メイプルレッズ×HC名古屋
			16:00～	(女)	オムロン×三重バイオレットアイリス
	鹿児島	ソニーセミコンダクタ九州体育館(JR日豊本線国分駅徒歩15分)	13:00～	(女)	ソニーセミコンダクタ九州×北國銀行
沖縄	宮古島市総合体育館(宮古島空港車15分)	13:30～	(男)	琉球コラソン×トヨタ車体	
2月20日(日)	佐賀	トヨタ紡織九州クレインアリーナ(JR長崎本線神埼駅車10分)	13:00～	(女)	広島メイプルレッズ×三重バイオレットアイリス
	熊本	山鹿市総合体育館(九州産交バス「山鹿バスセンター」下車、車10分)	15:00～	(男)	トヨタ紡織九州×湧永製薬
			14:00～	(女)	ソニーセミコンダクタ九州×HC名古屋
			16:00～	(女)	オムロン×北國銀行

湧永、紡織が順当勝ち

2月11日広島での湧永製薬-北陸電力戦は湧永が前半中盤から強力なディフェンスで北電の得点を封じる一方、ポストをからめた攻撃がよく機能し、徐々に点差を広げていった。北電も神田のミドルシュートで反撃を試みるが、湧永の優位は変わらず15-8と水をあけて前半を終了。後半も湧永が余裕あふれる試合運びで着実に追加点を奪い、危なげなく逃げ切って2位に浮上した。

2月12日、愛知での豊田合成-トヨタ紡織九州戦は、最後のプレーオフ出場権獲得に燃える紡織が、序盤から主導権をキープ。紡織は22-14と8点リードで迎えた後半も失点後もクイックスタートから得点して合成の追撃を許さず、順当に6勝目をマークした。

次の13週は、2月19、20日の両日、佐賀、熊本などで男子5、女子6試合が組まれている。男子・紡織、女子・オムロンなど、プレーオフ出場争いのボーダーライン上にいるチームの動向に注目が集まる。

◆ 2月11日(金) 男子 広島・東区スポーツセンター

湧永製薬	30 (15-8)	19	北陸電力	1勝1分10敗
9勝1分2敗				
<0/1>	K 志水	高橋	3/5	
	7/7 谷村	0/0 神田	7/12	
	2/3 木村	2/10 切越		
	0/1 坂本	0/0 桜井		
	5/5 福田	2/2 前田		
	1/2 佐藤	1/1 高田		
	2/4 名嘉	1/2 杉山		
1/1	5/12 樋口	1/3 落合	2/2	
	0/1 新井	0/0 石塚		
<0/1>	K 松井	廣瀬	<0/2>	
	0/0 古家	有江	<0/1>	
2/2	1/1 中浦	東長濱		
	0/0			

3/3 27/40 9(FPP)11 17/40 2/2
審判(大熨・山本) 観客 1037人

◆ 2月12日(土) 男子 愛知・枇杷島スポーツセンター

トヨタ紡織九州	37 (22-14)	26	豊田合成	1勝0分11敗
6勝2分3敗				
	K 松野	榎原	0/0	
	2/6 中嶋	0/0 原		
	1/2 西端	7/14 野田		
	1/3 松信	4/7 大橋		
	4/7 村上秀	2/2 桶谷		
	6/9 呉相民	5/11 中島		
	1/2 佐久間	0/0 森光		
	3/3 海道	0/2 加藤		
	K 谷川	藤田	<0/2>	
	0/1 木練	今村	4/8	
	4/4 藤本	仲村	4/4	
	6/11 鈴木	芳仲	0/0	
3/3	4/5 藤山	藤堂	<0/1>	
	2/4 石黒	米本	0/0	

3/3 34/57 9(FPP)8 26/48 0/0
審判(杉山・各務) 観客 843人

◆ 2月12日(土) 男子 愛知・枇杷島スポーツセンター

トヨタ車体	27 (16-15)	25	大同特殊鋼	9勝0分3敗
6勝1分5敗				
	K 木下	田中	<0/1>	
	0/0 石戸	1/1 棚原	0/1	
	1/3 佐々木	4/10 末松	1/1	
	2/4 高智	0/0 浦田		
0/1	2/2 藤地	0/0 引	1/1	
	3/3 木切倉	7/16 武引		
	3/3 北出	2/3 岸川		
	4/5 富田	2/3 千々波		
	4/6 鶴谷	3/4 山城		
<1/3>	K 坪根	東	<1/1>	
	1/4 崎前	熊谷	3/8	
2/3	0/0 銘荊	松永	0/0	
	K 甲斐	渡久川	1/1	
	6/8 門山	久保	<1/2>	

2/4 25/38 14(FPP)6 23/46 2/3
審判(池淵・檜崎) 観客 1264人

◆ 2月12日(土) 男子 沖縄・沖縄市体育館

大崎電気	32 (14-10)	26	琉球コラソン	2勝1分9敗
11勝0分2敗				
	K 浦和	宮城	0/0	
	2/5 染谷	0/0 久高		
	5/9 小澤	2/6 村山	1/1	
	1/5 豊田	6/9 兼浜		
3/3	3/5 東長濱	1/3 栗崎		
	1/1 永島	0/2 池田		
	3/3 横地	2/4 志慶真		
<0/1>	K 東内	田	<0/4>	
	1/5 森	名嘉	0/0	
	1/2 岩永	内山	4/5	
	0/0 内田	高田	4/7	
1/1	1/1 猪妻	石野	K	
	2/4 猪川	水野	6/11	
	8/10 宮崎			

4/4 28/50 6(FPP)11 25/47 1/1
審判(浦川・石崎) 観客 1710人

◆ 2月11日(金) 女子 広島・東区スポーツセンター

広島メイプルレッズ	22 (7-11)	18	オムロン	6勝1分5敗
6勝2分4敗				
<0/2>	K 堂面	藤間	<1/3>	
	1/1 土屋	高田	2/5	
	0/0 村山	巻	1/2	
	0/0 河田	稲葉	2/3	
2/3	0/1 大河前	吉田祥	0/0	2/2
	5/13 植垣	藤井	5/11	
	1/1 菅野	石立	1/6	
	4/6 早川	吉田薫	0/0	
	1/4 呉成玉	久野	2/7	
	0/0 五月女	永田	0/0	
	4/5 安齋	山中	K	
	0/0 伊藤	前田	0/0	
	4/8 高山	松本紗	0/0	
	K 田口	東濱	3/11	

2/3 20/39 1(FPP)7 16/45 2/2
審判(野島・石原) 観客 923人

◆ 2月12日(土) 女子 石川・金沢市総合体育館

北國銀行	33 (16-11)	21	HC名古屋	1勝0分11敗
10勝0分2敗				
<0/1>	K 寺田	近藤	<1/4>	
	0/0 若泉	池田	0/1	
4/5	6/12 上町	伊藤	0/1	
1/1	3/5 樋口	高橋瑛	4/11	
	1/1 佐久川	鈴木	5/9	2/2
	1/1 中村	菅谷	1/2	0/1
	8/8 横嶋	阪本	1/2	
	0/4 野路良	外本	3/7	
	1/2 翁長	高橋玲	3/4	
<1/2>	K 田代	家城	<0/2>	
	0/2 野路里	秋山	2/4	
	0/0 井上	井本	0/0	
	3/3 若松			
	5/7 屋嘉			

5/6 28/45 7(FPP)5 19/41 2/3
審判(大石・桜打) 観客 830人

◆ 2月13日(日) 女子 愛媛・松山市総合コミュニティセンター体育館

ソニーセミコンダクタ九州	34 (17-12)	20	三重バイオレットアイリス	2勝0分10敗
9勝1分2敗				
<0/2>	K 中島	浅井	<3/4>	
	4/7 郭恵静	横川	2/2	
	5/9 長野	戎野	3/7	
	3/4 高橋	石黒	2/3	
0/3	3/5 田中	宮下	1/10	
	0/0 山田	谷口	0/0	
	0/0 工藤	石坂	4/13	
	4/4 高栖	飯田	0/0	
	1/2 川崎	毛利	<1/1>	
	7/8 黒木	星野	3/10	
	K 飛田	小川	0/0	
0/1	0/0 古川	伊藤	2/2	2/2
1/1	3/3 錦織	村尾	1/2	
	3/8 張素姫			

1/5 33/50 7(FPP)7 18/49 2/2
審判(野島・石原) 観客 816人

選手登録情報

<広島メイプルレッズ>

No.20 宋海林 1985.01.12 167cm
67kg 右
仁川ソフン小→インハ中→ソウナン高
→大邱市庁
※2月19日から出場可能

会場・日程変更

2月19日(土) 鹿児島大会
(変更前) 霧島市国分体育館 14:00
ソニーセミコンダクタ九州-北國銀行
(変更後) ソニーセミコンダクタ九州
(株)体育館 13:00 ソニーセミコンダクタ九州-北國銀行

男女個人ランキング 第12週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	80点	(13試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	102点	(12試合)
2 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	72点	(11試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	96点	(12試合)
3 今村 彰伸 (豊田合成)	71点	(12試合)	3 高橋 恵 (ソニー)	74点	(12試合)
4 末松 誠 (大同特殊鋼)	68点	(12試合)	4 藤井 紫緒 (オムロン)	72点	(12試合)
4 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	68点	(11試合)	5 上町 史織 (北國銀行)	64点	(8試合)
4 東長濱 秀希 (大崎電気)	68点	(13試合)	6 横嶋 かおる (北國銀行)	55点	(12試合)
7 新建 二 (湧永製薬)	67点	(12試合)	7 田中 美音子 (ソニー)	50点	(12試合)
8 武田 享 (大同特殊鋼)	66点	(12試合)	8 高栖 由香 (ソニー)	49点	(11試合)
9 東長濱 秀作 (湧永製薬)	65点	(12試合)	8 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	49点	(12試合)
9 中島 晋太郎 (豊田合成)	65点	(12試合)	10 新城 明奈 (メイプルレッズ)	48点	(11試合)
11 野田 祐希 (豊田合成)	63点	(12試合)	10 呉 成玉 (メイプルレッズ)	48点	(12試合)
12 小澤 広太 (大崎電気)	62点	(13試合)	12 樋口 真央 (北國銀行)	45点	(7試合)
13 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	60点	(11試合)	12 張 素 姫 (ソニー)	45点	(12試合)
13 門山 哲也 (トヨタ車体)	60点	(11試合)	12 東濱 裕子 (オムロン)	45点	(12試合)
15 村山 裕次 (琉球コラソン)	56点	(12試合)	15 長野 かづさ (ソニー)	44点	(12試合)

フィールド得点

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	80点	(13試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	74点	(12試合)
2 今村 彰伸 (豊田合成)	71点	(12試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	63点	(12試合)
3 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	67点	(11試合)	3 横嶋 かおる (北國銀行)	55点	(12試合)
4 新建 二 (湧永製薬)	66点	(12試合)	3 藤井 紫緒 (オムロン)	55点	(12試合)
4 武田 享 (大同特殊鋼)	66点	(12試合)	5 高橋 恵 (ソニー)	51点	(12試合)
6 中島 晋太郎 (豊田合成)	65点	(12試合)	6 高栖 由香 (ソニー)	48点	(11試合)
7 末松 誠 (大同特殊鋼)	63点	(12試合)	6 新城 明奈 (メイプルレッズ)	48点	(11試合)
8 小澤 広太 (大崎電気)	62点	(13試合)	6 田中 美音子 (ソニー)	48点	(12試合)
9 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	60点	(11試合)	6 呉 成玉 (メイプルレッズ)	48点	(12試合)
9 門山 哲也 (トヨタ車体)	60点	(11試合)	10 東濱 裕子 (オムロン)	45点	(12試合)
11 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	59点	(11試合)	11 長野 かづさ (ソニー)	44点	(12試合)
12 東長濱 秀作 (湧永製薬)	56点	(12試合)	11 張 素 姫 (ソニー)	44点	(12試合)
13 高田 匠 (琉球コラソン)	55点	(11試合)	13 高田 裕梨 (オムロン)	42点	(12試合)
14 森 淳 (大崎電気)	52点	(13試合)	14 星野 美佳 (バイオレットアイリス)	41点	(12試合)
14 落合 信也 (北陸電力)	52点	(12試合)	14 上町 史織 (北國銀行)	41点	(8試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 新建 二 (湧永製薬)	66点/94射 0.702	1 高栖 由香 (ソニー)	48点/59射 0.814
2 小澤 広太 (大崎電気)	62点/91射 0.681	2 新城 明奈 (メイプルレッズ)	48点/65射 0.738
3 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	60点/92射 0.652	3 高橋 恵 (ソニー)	51点/74射 0.689
4 宮崎 大輔 (大崎電気)	80点/133射 0.602	4 横嶋 かおる (北國銀行)	55点/83射 0.663
5 門山 哲也 (トヨタ車体)	60点/100射 0.600	5 田中 美音子 (ソニー)	48点/86射 0.558
6 今村 彰伸 (豊田合成)	71点/124射 0.573	6 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	74点/160射 0.463
7 末松 誠 (大同特殊鋼)	63点/115射 0.548	7 藤井 紫緒 (オムロン)	55点/119射 0.462
8 武田 享 (大同特殊鋼)	66点/123射 0.537	8 呉 成玉 (メイプルレッズ)	48点/111射 0.432
9 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	67点/130射 0.515	9 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	63点/150射 0.420
10 中島 晋太郎 (豊田合成)	65点/127射 0.512	10 東濱 裕子 (オムロン)	45点/120射 0.375

7mスロー得点

1 東長濱 秀希 (大崎電気)	20点	(13試合)	1 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	33点	(12試合)
2 野田 祐希 (豊田合成)	17点	(12試合)	2 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	28点	(12試合)
3 桜井 渉 (北陸電力)	16点	(12試合)	3 上町 史織 (北國銀行)	23点	(8試合)
4 村山 裕次 (琉球コラソン)	15点	(12試合)	3 高橋 恵 (ソニー)	23点	(12試合)
5 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	13点	(11試合)	5 藤井 紫緒 (オムロン)	17点	(12試合)
			5 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	17点	(12試合)

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 吉田 耕平 (大崎電気)	6本/16射 0.375	1 藤間 かおり (オムロン)	15本/35射 0.429
2 内田 武志 (琉球コラソン)	6本/19射 0.316	2 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	10本/25射 0.400
3 坪根 敏宏 (トヨタ車体)	5本/17射 0.294	3 中島 亜樹 (ソニー)	13本/37射 0.351
4 志水 孝行 (湧永製薬)	4本/16射 0.250	4 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	6本/19射 0.316
5 石田 孝一 (琉球コラソン)	3本/13射 0.231	5 堂面 妙子 (メイプルレッズ)	7本/27射 0.259

第35回日本ハンドボールリーグ成績表 第12週終了 2月13日

順位	男子	大崎電気	湧永製薬	大同特殊鋼	トヨタ紡織九州	トヨタ車体	琉球コラソン	北陸電力	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気	○	●	○	○	○	○	○	○	13	11	0	2	22	450	385	65
2	湧永製薬	●	○	●	△	○	○	○	○	12	9	1	2	19	346	284	62
3	大同特殊鋼	●	○	○	○	○	○	○	○	12	9	0	3	18	331	303	28
4	トヨタ紡織九州	●	●	●	○	○	○	○	○	11	6	2	3	14	356	317	39
5	トヨタ車体	●	○	●	○	●	△	○	○	12	6	1	5	13	352	325	27
6	琉球コラソン	●	●	●	●	●	●	△	○	12	2	1	9	5	298	376	-78
7	北陸電力	●	●	●	●	●	△	○	●	12	1	1	10	3	278	359	-81
8	豊田合成	●	●	●	●	●	●	○	○	12	1	0	11	2	336	398	-62

順位	女子	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	広島メイプルレッズ	オムロン	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行	○	●	○	○	○	○	12	10	0	2	20	315	253	62
2	ソニーセミコンダクタ九州	●	○	△	○	○	○	12	9	1	2	19	361	278	83
3	広島メイプルレッズ	●	●	△	○	○	○	12	6	2	4	14	341	283	58
4	オムロン	●	○	△	●	○	○	12	6	1	5	13	306	242	64
5	三重バイオレットアイリス	●	●	●	●	●	○	12	2	0	10	4	274	365	-91
6	HC名古屋	●	●	●	●	●	○	12	1	0	11	2	207	383	-176

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。
 同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。